

2013年3月1日

桜を通じて東北・福島復興を応援
「fukushima(フクシマ)さくらプロジェクト」がスタート！
3月9日（土）・10日（日）に「鶴ヶ城 プロジェクションマッピング はるか」を開催

住友林業株式会社（社長：市川 晃 本社：東京都千代田区）は、福島・東北、そして日本を元気にすべく多くの企業により広報活動等を行う「fukushimaさくらプロジェクト」に協賛し、参加いたしますのでお知らせいたします。

■ 「fukushimaさくらプロジェクト」とは

新種の桜「はるか」を福島県から全国各地に届けることを核に、多くの企業の参加により、東北・福島を応援する機運を醸成する広報活動等を行うプロジェクトです。

原発被害のあった福島の現状を忘れることなく、そして子供たちの「10年後の自分への強いメッセージ」を伝えていくため、新種の桜「はるか」をシンボルにして、それぞれの参加企業の取組や「テーマソング」等、様々な方法で多くの人々に伝え、行動を促すきっかけを与えていく予定です。

■ 「はるか」とは

「はるか」は、森林総合研究所が開発し、福島県に贈られた新種の桜で、東北・福島を応援するシンボルとして、はるかかなたの未来にまで広がって欲しいという想いを込めて、NHK大河ドラマ「八重の桜」の主演を演じる綾瀬はるかさんにより、昨年12月24日に命名されました。

■ 未来へのメッセージを発信する大規模プロジェクションマッピング

「fukushimaさくらプロジェクト」の第1弾として、「鶴ヶ城プロジェクションマッピング はるか」が、3月9、10日の2日間にわたり開催されます。

新東京駅でのセレモニーとして有名になった「プロジェクションマッピング」の手法が東北で初めて、会津の歴史の象徴である「鶴ヶ城」で行われます。

投影する映像は、現在は苗木である「はるか」が、10年後に大輪の花を咲かせるイメージを表現しながら、震災から2年を迎える今、“未来”へ向けた強いメッセージを発信するものとして制作されています。総合演出は、「TOKYO STATION VISION」（東京駅）等を手がけたNHKエンタープライズにより行われ、鶴ヶ城の2つの面に映像が映し出されます。

<実施概要>



- 名称：鶴ヶ城プロジェクションマッピング はるか
- 日時：平成25年3月9日（土）、10日（日） 18:00～、18:40～、19:20～
- 会場：鶴ヶ城（福島県会津若松市追手町1-1）
- 主催：会津若松市
- 共催：福島県、fukushimaさくらプロジェクト
- 協力：NHKエンタープライズ、会津若松市「八重の桜」プロジェクト協議会

協賛：NTTぷらら、NEC、NTTファイナンス、コーセー、住友林業、東芝、日立製作所、アクセンチュア、内田洋行、シマンテック、清水建設、住友スリーエム、日本アジアグループ、日本システムウエア、ネクスウェイ

■ 今後の展開

桜の時期に向けて準備されているいくつかの企画や各参加企業が行う取組などが立ち上がっていく予定であり、更に参加企業の数拡大しながら、発信力を高めていく予定です。

■ 「fukushimaさくらプロジェクト」に関するお問い合わせ先

「fukushimaさくらプロジェクト」事務局 担当：岡
連絡先：03-5733-5033、oka-yoshinori@e-solutions.co.jp

以上

《ニュースリリースに関するお問い合わせ先》
住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション室 池田・飯塚
TEL 03-3214-2270